



「おひさまきらきら えがおいっぱいなんぜんようちえん」

南山幼稚園だより

平成27年10月31日

11月号

港区立南山幼稚園

親子運動会から

園長 和田京子

南山の森の木々の葉が色づき始めました。秋の深まりを感じます。

さて、10月17日（土）の親子運動会には、たくさんの皆様に御参加いただき、ありがとうございました。また、保護者の皆様には、準備から片付けまでお手伝いをいただきました。心から感謝申し上げます。雨の運動会となってしまいましたが、会場の体育館では、子供たちと皆様との距離が近かったことで、熱気溢れる運動会となりました。

子供たちは、間近から聞こえてくる保護者の皆様の声援が嬉しくて、その声援に応えて、元気いっぱいがんばりました。保護者の皆様にとっては、子供たちのがんばりとパワーを間近に感じ、きらきらと輝く子供たちの表情に夢中になった運動会だったことでしょう。最後の親子ダンスでは、たくさんの素敵な笑顔を見ることができました。最後に、おうちの方にぎゅっと抱きしめられたときの子供たちのうれしそうな顔、そして、保護者の皆様の幸せそうな顔。素敵な親子のかかわりをたくさん見ることのできた運動会になりました。

素敵な親子のかかわりが、子供の豊かな心を育てていきます。日々の生活の中では、子供の言葉や表情、しぐさから子供の心の中にある気持ちを汲み取って、その気持ちに共感することを大切にしていましょ。そして、笑顔で子供に優しく声をかけ、穏やかな気持ちで、親子の絆を深めていましょ。

体験を豊かに

副園長 河合晴美

4、5歳児が、芋掘り遠足に行きました。芋畑で思いきり土に触れ、たくさんの芋を収穫しました。今回は、天候に恵まれたこともあり、トカゲや幼虫、バッタ等、たくさんの生き物にも出会いました。また、木登りに何度も挑戦し、自分の力でよじ登り、「できた」という喜びを味わった幼児もたくさんいました。夢中でドングリ集めをした幼児もいます。幼児は、いろいろな思いを表し、様々な表情で生き生きと活動をしていました。

教員にとっては毎年の芋掘りですが、それぞれの年により、幼児の様子や言葉、発見や喜びが違います。幼児それぞれが体験していること、感じていることがより豊かになるようなかかわりができるように、私たちも一緒に楽しみながら、感性豊かにかかわれるように努めていきます。

11月のねらい



◎3歳児 りんご組

○同じ場にいる友達と触れ合いながら、やりたい遊びを十分に楽しむ。

気に入った場に好きな遊具や自分で作ったものを持ち運んで遊ぶ姿を認めながら、存分に試したり繰り返したりして遊べるよう援助していきます。また、友達や教師と一緒に場で活動したり、触れ合ったりしながら、教師や友達と一緒に過ごすことを楽しめるように保育していきます。

○いろいろな素材に触れ、自分なりに作ったり描いたりすることを楽しむ。

秋の自然物を集めることや、新しい素材に触れることを楽しめるようにしていきます。そして、それらを使って作り、遊ぶことを楽しみます。

◎4歳児 ばら組

○いろいろな遊びの中で、自分の思いや考えを言葉や動きで表し、友達と関わりながら遊ぶことを楽しむ。

ごっこ遊びでは、よりイメージが実現していけるように物や場を作っていきます。また、関わりが生まれるような遊びの流れや場の使い方ができるように援助していきます。友達と関わりながら遊ぶことで、より遊びが楽しくなったと感じられるようにしていきます。

○いろいろな素材や表現方法で、伸び伸びと描いたり作ったりすることを楽しむ。

身近な素材や、新しい材料を使って、描いたり作ったりすることを楽しみます。自分なりに伸び伸びと表現している姿を認めていくことで、できた喜びを感じ、製作活動への意欲や自信がもてるようにしていきます。

◎5歳児 さくら組

○考えやイメージを出し合いながら、友達と一緒に目的に向かって遊びを進めていくことを楽しむ。

友達と遊びの目的やルールが共通になることで、一緒に遊ぶ楽しさを経験してきました。自分たちの遊びがより楽しくなるために、互いに考えやイメージを伝え合い、工夫しながら遊びを変化させ実現していけるようにします。また、学級で鬼遊びを繰り返し楽しみ、運動会で得た自信や、走る心地よさをさらに伸ばしていけるようにしていきます。

○学級の目的に向かって取り組む中で、一人一人が力を出し、やり遂げていく満足感や達成感を味わう。

作品展に向けて取り組む中で、自分の表現活動を楽しむとともに、友達と目的に向かって考えやイメージを出し合い、一緒に作る楽しさや、やり遂げた満足感を味わえるようにしていきます。

南山幼稚園と南山小学校 連携の生活のめあて

「正しいことばづかいをしよう」

